

ほけんだより

いすみこども園 令和 7 年 5 月

虫除け・虫さされの対応について

蚊や虫が多くなる季節です。虫さされ予防の服装についてお願いします。

◇通気性の良い薄手の長そで・長ズボンが望ましいです。

◇東京都福祉保健局からのデング熱の予防法でも、肌を露出しないことが対策としてあげられています。

デングウイルスを媒介するヒトスジシマカやネッタイシマカは、日中に活動します。その時間帯に屋外で活動する場合は、肌の露出を控え、長そで・長ズボンの着用が推奨されます。

素足でのサンダル履きも避けたほうが良いです。

「東京都福祉保健局 デング熱について」より

園での虫除け・虫さされ対応

※蚊取り線香・電気蚊取り線香・子どもが使える *イカリジン使用 虫除けスプレーを使用します。

※乳児クラスは、虫にさされやすい・さされると腫れやすいなどがあるお子さんには、状況に応じてイカリジン使用の虫除け剤対策をします。ただし積極的に薬剤使用はしません。

※蚊取り線香の煙・虫除けスプレーを、使用することに支障がある場合はご相談ください。

*イカリジン…日本では、2015 年に使用が承認された新しい「虫除け成分」です。「イカリジン」には年齢制限や年齢に応じた使用制限や回数制限がありません。赤ちゃんにも使える虫除け成分です。

*ディート…生後6カ月未満の赤ちゃんには使用が禁じられていますし、12歳以下のお子様は1日に使用できる回数に制限があります。

■スプレーをしない場合■

○園外活動

・園庭遊びの場合に、虫さされが気になる方は通気性のよい、長そで・長ズボンが望ましいです。

※衣服の素材は吸湿性・透湿性速乾性に優れたものを、選ぶようにお願いします。半そで・半ズボン用意の場合は、上記予防対応をします。

■ご家庭で虫さされ予防対応をしてきた場合の、園での対応について■

○虫除けリング

・リングは、引っかかるなど活動に支障が出るため園には着けてこないでください。

○虫除けシール

・園での管理はしません。

※保護者の判断で、家庭から服にシールを貼ってくるのはかまいませんが、園での貼り直しはしません。

他のお子さんが気にならないように、また、はがれて口に入れないように、服の内側に貼り、職員にお知らせください。

■虫にさされた場合■

○虫さされ用の薬

・園生活で虫にさされた場合、水洗いしてから市販のかゆみ止めを塗ります。

※薬品自体に肌がかぶれるお子さんもいるので、支障がある場合はお知らせください。

流行しています！

・伝染性紅斑【りんご病】

潜伏期間は10日から20日。原因ウイルスに感染すると、両頬に赤い発疹が出ます。

頬がはれる前は、何も症状がないか、発熱や倦怠感などの軽い風邪の症状が出ます。伝染性紅斑は、頬がはれる前の時期に感染力があり、頬がはれて、伝染性紅斑だと分かる頃にはもう人にうつすことはありません。そのため、予防が難しいので、日頃からこまめに手を洗って、家の中にウイルスを持ち込まないことが大切です。発疹のみで全身状態が良ければ登園可能になっていますが、医師の診断が必要です。

・水痘【水ぼうそう】

潜伏期間は2週間から3週間。微熱が出ると同時に体のやわらかいところに発疹ができ、半日から1日で顔、口腔内、胸、背中、手足から頭皮の中にまで、全身に広がります。直径2から3mmくらいの赤い斑点で1から2日で中央に水疱ができて、かゆみも出てきます。

水疱は、はじめは透明で次第に中が白っぽく濁ってきて、1から2日過ぎると、乾いて黒っぽいかさぶたになります。とてもかゆいですが、水疱をひっかいて細菌が入ると、化膿したりとびひになったりすることがあるため、爪を短く切り、ひっかかないようにしましょう。発疹が全てかさぶたなるまでは、登園停止になります。

手洗い

手洗いかぜや感染症の予防にもつながります。

外遊びの後、トイレの後、食事の前にはしっかり手をあらう習慣をつけましょう。

きれいな 手の洗い方

